

アートを楽しく体験する。

## オープニングセレモニー ライブパフォーマンス from USA and Ireland Experience 「ビデオプロジェクション×即興音楽」

アイルランド北西部ドネガルの手付かずの自然の風景を基にした映像作品に合わせ、キーボードとサクソフーンで即興演奏を行います。アーティストとミュージシャンが音と映像で表現する心情風景をゆつくりとお楽しみください。

- 日 時 4月29日(土・祝) 17:00～
- 会 場 史跡旧崇広堂 講堂
- 出 演 映像: キーボード: Ian Joyce サクソフーン: 安倍 直樹
- 参加料 無料 ■定員 30名 (予約制)
- お申込 ☎0595-22-0511 にて受付。



## Experience 「宮古島の苧麻文化を探る-はた織ワークショップ」

「はた織り」って何でしょう？実は数本の棒を使うだけで「はた織り」は出来てしまいます。たて糸を腰で張り、そこよこ糸を織り込んでいくことで、織り手の思いが布になって現れてきます。今回はワークショップ参加の皆さんが少しずつ織り進めて、全員のワクワクが詰まったオリジナルの布を仕上げます。沖縄・宮古諸島では、島のおばあちゃんたちが苧麻(ちよま)という植物から作った極細糸を天然染料で染めて織り、仕上げに砧打ちをして、張りとしなやかさを併せ持つ究極の布「宮古上布」が作られています。苧麻の文化は宮古島で400年以上も先人達の手によって受け継がれてきた伝統です。この展示会に出品している砂川美恵子さん、仲間伸恵さんも継承されている方々で、宮古島の風土・くらし・気配が彼女たちの中で醸され、「あるかたち」となって現れます。そしてそれは織物だけでなく紙漉きへ、さらにはアートにまで広がりを見せています。皆さんも「はた織り」を通して宮古島の苧麻文化を少しでも覗いてみませんか？

- 日 時 4月29日(土・祝) 9時～12時・14時～19時 ※お一人10分～30分程度 2つの織機で先着順 ※材料がなくなり次第終了となります。
- 会 場 史跡旧崇広堂内
- 講 師 岩本 大輔 Daisuke Iwamoto 染織
- 参加料 100円

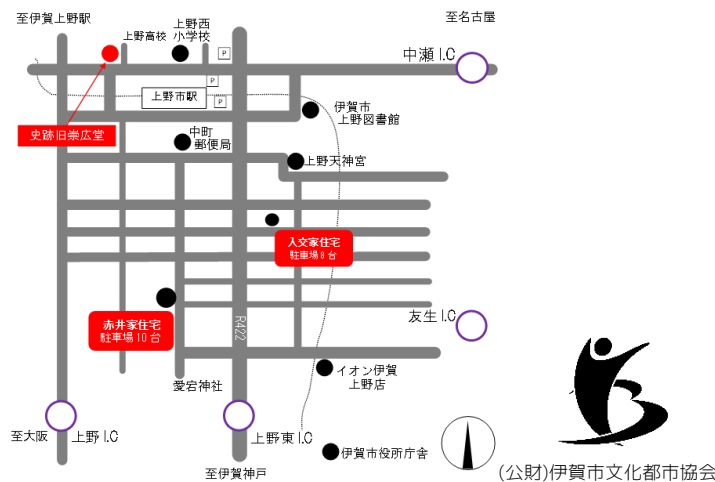


## Museum Shop

「第9回光のART展」では、作品販売コーナーを大広間に設けました。三代沢信寿が染色し、平面構成した麻布と、大塚俊治(OLA 主宰) 山中宏美(布作家 hiro) 田中貴司(BLINK LEATHER WORKS)とのコラボ作品。世界にひとつの、オリジナルバッグを販売します。三代沢信寿が手掛ける、麻布を使ったタペストリーやランプ、残った布を独特なパッチワークでアートに昇華した布の抽象画。生み出したモノを最後まで美しく表現する独特の世界観を手にとってご覧ください。



【会 場】 史跡旧崇広堂 〒518-0873 三重県伊賀市上野丸之内 78-1



# LIGHT ART EXHIBITION 9

## 光のART展IX 光と影—SHADOW—



### 2023.4.29(土・祝) → 5.7(日)

OPEN 9:00～20:30

史跡旧崇広堂 三重県伊賀市上野丸之内 78-1

入場無料 (16:30～20:30 限定)

※9:00～16:30 は入館料大人 300円、小中高 100円が必要となります。

【主 催】 公益財団法人伊賀市文化都市協会 ☎0595-22-0511

【後 援】 伊賀市・伊賀市教育委員会・名張市教育委員会

★この事業は、伊賀市文化振興条例、伊賀市文化振興ビジョンに基づき実施します。

【ARTIST】

三代沢信寿(総合プロデュース、造形染色作家、竹・布・和紙)

- |                        |             |              |
|------------------------|-------------|--------------|
| 大村俊二(ガラス)              | 玉田恭子(ガラス)   | 多治見正勝(木工)    |
| 水口智貴(ガラス)              | 白藤晴久(ガラス)   | 鍋田尚男(ガラス)    |
| 岡本泰彰(絵)                | 加倉井秀昭(ガラス)  | 関根正文(金工)     |
| 野田 收(ガラス)              | 岡村 徹(ガラス)   | 吉田謙也(ガラス)    |
| 寺川真弓(染織)               | 岩本大輔(染織)    | 砂川美恵子(染織)    |
| きたがわさとこ(ガラス)           | 仲間伸恵(染織)    | アビルショウゴ(ガラス) |
| 日下真梨子(ガラス)             | ノムラトモヒロ(映像) | 川尻優子(ガラス)    |
| 田中里沙(ガラス)              | 中村真那(ガラス)   | 田中大典(ガラス)    |
| 遠藤由希子(ガラス)             | 野間恵花(ガラス)   |              |
| クリスティーナ ヴェントゥロヴァー(ガラス) |             |              |



# EXHIBITING ARTISTS

**三代沢 信寿** Nobutoshi Miyosawa 竹・布・和紙 総合プロデュース  
天然繊維を、幾何学的に構成したタペストリー、光オブジェ「布の銀河」「和紙の銀河」「竹の銀河」の制作で独自性を打ち出している造形染色作家・光のオブジェアーティスト。活動の際は、自宅から商業施設、ホテル空間と幅広く、連日、fb、instagram に投稿。

**大村 俊二** Shunji Omura ガラス  
東京ガラス工芸研究所卒業。1993～97年「New Glass in Japan展」ドイツ巡回展をはじめ、パリ オルレアン市立美術館で個展、デンマークGlass Museumで作品を発表する。1998年「第二回現代ガラスの美展」in 薩摩で大賞を受賞。海外の大学などでワークショップの講師を務める。現在、武蔵野美術大学教授。

**玉田 恭子** Kyoko Tamada ガラス  
『時を織り、空(くう)を染め、情を美しく』文学的・美的理念「ものあわれ」を主題に作品を制作。国内各所他ロンドン、ニューヨーク、パリなどで作品発表。'22～23 東京都美術館「美をつむぐ 源氏物語」展に出展。武蔵野美術大学卒業。 玉田ガラス工房主宰。

**岡村 徹** Toru Okamura ガラス  
東京ガラス工芸研究所、桑沢デザイン研究所 卒業。2000 モナコ日本文化フェス出品。2009 台湾芸術大学、台湾教育大学 特別講義。2016「ガラスを刻む」展 2019 T-BLAST 設立。東京ガラス工芸研究所、武蔵野美術大学 特別講師。

**水口 智貴** Tomoki Minakuchi ガラス  
1981 愛媛県に生まれる 2000 倉敷芸術科学。2004 赤澤清和氏に師事 倉敷芸術科学大学専門学校クラフトコース助手。2005 師匠の赤澤清和氏が急逝 赤澤グラススタジオを引き継ぐ。2007 倉敷にて吹きガラス工房 ぐらすた TOMO 設立

**関根 正文** Masafumi Sekine 金工  
1973 東京藝術大学大学院修了 1982 日本クラフト展日本クラフト賞 1987(財)美術工芸振興佐藤基金 淡水翁賞 1990 日本クラフト展 優秀賞 2004 日本ジュエリーアート展 優秀賞 1971 卒業制作 東京藝術大学収蔵 1991'93 国立工芸館作品収蔵 2000 豊田町香りの博物館作品収蔵 2000 九州産業大学作品収蔵 NPO法人日本臨床美術協会理事

**白藤 晴久** Haruhisa Shirafuji ガラス  
大阪府出身。大阪大学歯学部附属歯工学校卒業。2005 年 ガラス工芸を始める。2012 年 (財)富山市ガラス工芸センター 富山ガラス工房勤務(～2014)。2015 年～滋賀県高島市に移住。豊かな自然に寄り添いながら、制作活動を行っている。

**多治見 正勝** Masakatsu Tajimi 木工  
木鳥 発想と観点(コンセプト)  
余分な飾りを取り省きシンプルな機能を追求するミニマリズムを展開しつつ自然の力や鑑賞者が動かす美術作品「キネティック・アート」の素材を木に求め「鳥」として蘇生し群れ遊ばせる。

**アビルショウゴ** Shougo Abiru ガラス  
1994 東京藝術大学大学院修了(彫刻)  
1997 富山ガラス造形研究所卒業  
2006 第3回現代ガラス展 in 山陽小野田 大賞  
2008 第9回大分アジア彫刻展 大賞、第3回現代ガラス大賞展・富山 2008 大賞  
2018 第15 回特別記念 KAJIMA 彫刻コンクール 大賞

**日下 真梨子** Mariko Kusaka ガラス  
1996 年東京生まれ、6歳から10歳まで父の仕事の都合でニューヨークで育ち、幼い頃の習い事をきっかけに美大に進むことを決める。高校卒業まで愛知県。恐怖、不安、好奇心をテーマに彫刻作品を制作、実用品も同時に制作中。

**寺川 真弓** Mayumi Terakawa 染織  
土を耕し、桑を植え、お蚕さんを育てる。  
その繭を糸に挽ぎ、草木で染め織る。  
このいのちそのものの布が光をまとい、何ものかになる第一発見者として、ただ無心に織りたい。



## 様々な素材を使い 創造性あふれる作品の数々で 圧倒的な「光」と「影」のART空間を魅せる

**岡本 泰彰** Yasuaki Okamoto 絵  
2001 年英ロンドンへ。その後、バルセロナやモンリオール等をへて、09 年に拠点をNYに移し11 年にNY で初個展(以後省略)。14 年、受賞獲得した旅行助成金でスペインのグラナダとレイダを拠点に作品制作。翌年NYへ戻り、18 年に国吉康雄賞 受賞。19 年独ベルリン滞後に帰国。

**岩本 大輔** Daisuke Iwamoto 染織  
2003 愛知県犬山市の機織体験工房で主宰者の修行時代の布に魅せられ染織の道に進むことを決意。2005 妻、娘と共に宮古島に移住。90 歳の下地ミツ氏に師事(製織)。砂川美恵子氏に師事(藍栽培・藍建て・染色)。その後無形文化財保存団体の事務局を経て、現在藍の栽培・家事・育児をしながら染織業に従事。

**野田 収** Osamu Noda ガラス  
1952年新潟生まれ。多摩美術大学立体デザイン科のガラスプログラム一期生。米国イリノイ州立大学大学院卒業後、1988年に新潟ガラスアートセンターを開設し企画運営及び作家活動を行なっている。特産の火山石が主原料の新島ガラスの開発制作とガラス工芸の啓蒙および人材育成を行なっている。

**鍋田 尚男** Hisao Nabeta ガラス  
1969年宮城県仙台市生まれ 1994年武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科卒業。2000年ガラス工房尚設立。2009年黄金崎クリスタルパーク器のかたち・現代ガラス展 藤田喬平賞。2010年国際ガラス展・金沢2010 銀賞。2019年第59回東日本伝統工芸展 岩手県知事賞。色とりどりの不透明と透明なガラスのパーツを組み上げていくモザイクガラスで「日本の伝統的な文様」や「心象風景」を表現しています。

**加倉井 秀昭** Hideaki Kakurai ガラス  
1998 年 東京ガラス工芸研究所卒業  
2007～ 女子美術大学非常勤講師  
2012～ 長野県富士見町に工房 Scratch&Noise 設立

**吉田 謙也** Kenya Yoshida ガラス  
1994 年 青森県青森市生まれ 2017 年多摩美術大学工芸学科ガラスプログラム卒業  
2019 年 富山ガラス造形研究所 研究科 卒  
2022 年 多摩美術大学工芸学科非常勤嘱託 退職、東京藝術大学美術研究科ガラス造形研究修士課程 入学 現在、茨城県取手市で活動

**クリスティーナ ヴェントゥロヴァー** Kristyna Venturova ガラス  
1994 年 プラハ生まれ  
2019 年 プラハ美術工芸大学大学院修士課程ガラス専攻卒業  
2020 年 現在、東京藝術大学美術研究科ガラス造形研究室所属

**きたがわ さとこ** Satoko Kitagawa ガラス  
京都市出身。大学農学部にて植物病理学専攻、卒業後外資系製薬会社勤務。  
2018 年 酸素バーナーワークを大鎌章弘氏に師事  
2022 年 富山ガラス造形研究所卒業。Corning museum of grass the studio summer workshop scholarship  
現在、大阪芸術大学在学中。

**仲間 伸恵** Nobue Nakama 染織  
1963 年、沖縄県生まれ。琉球大学時代に染織とファイバーアートに出会い植物繊維の力を発見する。その後、紙を素材にファイバーアートの制作を続け、40 歳を機に故郷へ戻って宮古の織物を学ぶ。現在は琉球大学の教員をしながら宮古上布の素である学麻の植物繊維を中心に作品制作を行なっている。

**砂川美恵子** Mieko Sunakawa 染織  
1950 生 沖縄県宮古島に 染織  
下地恵康(織)・大城志津子(図案作成・拵括り・草木染色)に師事  
32 才で独立 インド藍の栽培・木灰で藍建て 宮古上布・帯を制作

**ノムラトモヒロ** Tomohiro Nomura 映像・音楽  
1993 年三重県出身  
ファンタジーだがノンフィクションをテーマに幻想性に何処か既視感を漂わせて全世界の人に共通して宿るなつかしさを作品にしている。

**川尻 優子** Yuko Kawajiri ガラス  
2017～2021 神戸芸術工科大学 芸術工芸学部 アート・クラフト学科 実習助手  
2021～2023 富山ガラス造形研究所 研究科

**田中 里沙** Risa Tanaka ガラス  
兵庫県出身 2023 富山ガラス造形研究所 研究科卒業 現在 金沢卯辰山工芸工房 ガラス工房所属 ガラスが見せる人の肌のような質感に惹かれて制作しています。

**中村 真那** Mana Nakamura ガラス  
1991 年広島県生まれ。美容学校を経て都内の美容室に就業。2021 年 4 月富山ガラス造形研究所入学。2023 年 3 月同研究所卒業、2023 年 4 月～瀬戸市新世紀工芸館ガラスコース研修生。

**田中 大典** Daisuke Tanaka ガラス  
2015 年福井工業大学工学部卒業。2021 年自己表現を形に残していきたいと思い富山ガラス造形研究所造形科に入所。2023 年卒業。大阪府和泉市 fresco 勤務。

**遠藤 由季子** Yukiko Endo ガラス  
2021 長岡造形大学美術・工芸学科クラフトコースガラス領域卒業 2023 富山ガラス造形研究所造形科卒業 現在同校研究科に在籍 ガラスの割れの表情に魅力を感じ、制作を行っています。

**野間 恵花** Ayaka Noma ガラス  
大阪で生まれ育ち、大阪府立港南造形高等学校卒業後、富山ガラス造形研究所に入学する。  
現在は富山ガラス工房第二工房勤務。

# LIGHT ART EXHIBITION 9 FEATURING INTERNATIONAL ARTISTS

**安倍 知子** Tomoko Abe ガラス・陶・紙・映像・インスタレーション  
様々な素材を用いて建築と融合したインスタレーション等を制作。自然の朽ちていく様子や再生する力からインスピレーションを受ける。Edinburgh College of Art 卒。現在ニューヨーク在住、Bullseye glass レジデンシー(2018)、UrbanGlass レジデンシー(2020)  
<http://www.tomokoabe.com>

**サンウォン・ユン** Sung Won Yun 絵画・写真  
韓国の大学でBFA(2000年)とMFA(2003年)を取得後、ボストンの School of the Museum of Fine Arts で2010年に修士課程(MFA)取得。  
過去、11 回の個展、80 回以上のグループ展に出展し国際的に活躍している。  
サンウォンは、絵画、ドローイング、写真を通して、様々な物体のダイナミックな存在に秘められる静寂の世界を探求をしている。 <https://www.sungwonyun.com>

**イアン・ジョイス** Ian Joyce  
版画・絵画・インスタレーション・パフォーマンス・映像  
アイルランド出身。1979 年にカナダ Lester Pearson College を卒業。1982 年に University College Dublin で英文学、哲学、経済で学士取得。作品のメディアは多様で、インスタレーション、版画、絵画、ドローイングをはじめ、最近ではパフォーマンスや映像作品にまで分野を広げている。チェコ、ボスニア、グルジア、アルメニア、台湾、韓国など幅広い地域で活躍している。 [www.ianjoyce.art](http://www.ianjoyce.art)

## ニューヨークの A・I・R ギャラリーから届いた、新作の版画集を展示

この版画集は創立 50 周年を記念して NY の A.I.R. ギャラリー (<https://www.airgallery.org>) がコロンビア大学ニューマンセンター (<https://www.neiman.arts.columbia.edu>) と共同で制作した。Artist In Residence (A.I.R.) は 1972 年に米国で初めての女性アーティストのための女性アーティストによる非営利団体ギャラリーとして創立された。A.I.R.メンバーによる版画集は 1976 年に制作されている。

